



様式3

「地域の良好な景観資源」リスト		1	空知総合振興局
		7	滝川市
No.	名称	写真	説明
1	ラウネ川		豊かな緑に囲まれた、カヌー、ボート遊びなどマリンスポーツが気軽に楽しめる河川です。
2	ふれ愛橋 [滝川市北滝の川94番地先]		ラウネ川にかかる水辺のシンボルとなる橋です。
3	優良な田園風景		四季折々に変化をみせる田園風景。毎年5月中旬～6月上旬に開花時期を迎える「菜の花」は、日本有数の作付面積を誇ります。
4	丸加高原エリア		牧草地の広がる高原エリアです。北海道らしい風景が広がっており、季節ごとに移り変わる雄大で美しい景観が楽しめます。
5	華月館 (滝川市指定文化財第3号) [滝川市文京町1丁目1番19号]		滝川市指定文化財の華月館は、三浦屋二代目・三浦庄作が、1914(大正3)年、御料局(皇室林野管理局)滝川出張所の建物の払い下げを受け、菜の花通り(現在の花月町)に移転し、翌4月に奥座敷を増築したもので、三浦屋の貴賓室として要人宿泊に利用されました。和洋折衷の様式で数々の調度品もあわせて、明治から大正期の民間高級住宅の趣を伝えています。

様式3

「地域の良好な景観資源」リスト		1	空知総合振興局
		7	滝川市
No.	名称	写真	説明
6	<p>屯田兵屋 (滝川市指定文化財第5号)</p> <p>[滝川市江部乙町東11丁目13番2号]</p>		<p>明治23(1890)年7月南・北滝川兵村(一部明治22年12月)に440戸、1,931人、明治27年5月に、南・北江部乙兵村400戸、1,788人の4兵村が配置されました。この屯田兵屋は、南江部乙屯田兵村の2棟を骨格に、内部主要材を北滝川兵村の1棟を使用し、当時の材料をおおむねそのまま利用したものです。</p>
7	<p>牧羊用石造サイロ (滝川市指定文化財第6号)</p> <p>[滝川市江部乙町3972]</p>		<p>この札幌軟石造りのサイロは、滝川種羊場のめん羊のための冬期飼料庫として大正12(1923)年9月13日に建てられたもので、昭和47(1972)年まで使用されました。大きさはサイレージ容量100トン、高さ38尺(11.5m)、直径18尺(5.45m)あります。石組の連結部が脆弱になったことから、飼料庫の役目を終え、昭和57年に滝川市指定文化財として丸加高原展望台に移設されました。</p>
8	<p>石狩川</p>		<p>石狩川は、大雪山系を源とし、上川、空知、石狩の大平野を形成して日本海に注ぐ大河川です。北海道開拓の歴史の中で、度重なる洪水と闘いながらも、交通・物資輸送の道として大きな役割を担い、また鮭漁など北海道の歴史と文化が刻み込まれている石狩川は、北海道遺産にも登録されています。歴史と自然が溢れる石狩川では、川下りや川遊びなどの体験活動を体験できる「みんなとち自然体験楽校」が開校されています。</p>

様式4

「主要な展望地」リスト		1	空知総合振興局
		7	滝川市
No.	名称	写真	説明
1	丸加高原展望台 [滝川市江部乙町 3972-10]		季節ごとに様々な表情をみせる大自然に囲まれた展望台です。牧草地の広がる高原ではのんびり草を食む牛や羊たちに出会えることもあります。 景観資源No2. 3. 4. 7.